

『金澤町家 魅力と活用法』



NPO法人金澤町家研究会
能登印刷出版部
(定価1,800円+税)

加賀百万石の城下町として知られる石川県金沢市。歴史文化が色濃く残り、2015年には北陸新幹線が開通したこともあって観光地としてもますます知名度が高くなっている。

しかしここでも、中心市街地の空洞化と空き家問題、歴史的建造物を取り壊され空き地や駐車場となる現象、そして人口減少など、他の多くの地域と同じ問題を抱えている。

本書は、そのような状況のもとで、金澤町家の継承・活用に市民や行政とともに取り組んできたNPO法人金澤町家研究会が発足から10年を迎え、これまでの活動の成果をまとめたものである。

最初に座談会で、住まう智慧、暮らしの文化、職人の匠の技が凝縮した金澤町家の魅力が語られる。続いて各章では、金澤町家について①種類・特徴・歴史、②継承と利活用、③改修、④町家入手から利活用支援までが、具体的な事例をあげながら紹介されている。さらに、種々のイベントや地域の文化、民家の環境特性などを紹介するコラムも盛り込まれており、親しみやすく、かつ解りやすい。

改修の章では、歴史と風情ある建物(町家)が度重なる改修によりボードや化粧板でおおわれている状況に対して、問題点を具体的に示し、解決策を一つひとつ丁寧に説明しており、参考になる。

金澤町家を理解する格好の書であり、また読み手は関心のある部分から読み進めることができる。歴史ある建造物を保存し利活用することで、その地域の特性と文化が継承されること、また地域に雇用が生まれ、生活空間として生きてくることを実感できた。

(東京都・正会員 山田夕湖)